

こんにちは

庄内町議会

No.44
3月議会号
27.4.20



おめでとう

ありがとう

余目第二小学校
卒業式

- 合併後最大115億円超え ————— 〈予算〉 2
- 今年度の目玉 ————— 〈特色事業〉 4
- 緊急地方創生事業 ————— 〈補正予算〉 14
- 町政を問う13人の提言 ————— 〈一般質問〉 16
- 生かせ提言 ————— 〈委員会報告〉 24

生声ひろば

北月山荘



なごやかな雰囲気の中でインタビュー

昨年末に北月山荘は、お客様が喜んで利用できるようリニューアルしました。今回の生声ひろばは、いつも北月山荘を利用しているお客様の声を直接お伝えします。

Q 改修された北月山荘はどうですか。
A 廊下や、待合室などに暖房が入りとても気持ちよく休憩できるようになりました。

装いも新たに
お客様のニーズに対応

Q 休憩室はどうですか。
A 前より広く綺麗になりましたが、窓からの眺めが悪くなり残念です。また、他の施設より利用料金が高いのではないのでしょうか。

Q 北月山荘には何で来ますか。
A 町営のバスで来ます。帰りの時間が決まっていますので、ちよつと時間が足りない感じですが。

Q お昼はどうしていますか。
A おにぎりや、漬物を持参して仲間と楽しく食べています。綺麗になったレストランで、1品110円の小鉢料理も美味しく頂いておりますが、お客様の要望を取り入れてもらいたい時もあります。



活性化にむけて
がんばります

今回の人事異動により議会事務局書記として、税務町民課の佐藤修一さん(写真左)が着任しました。

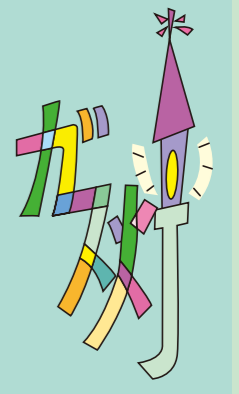
開かれた議会づくりをめざし新体制(3人)でがんばりますので、よろしくお願ひします。

新体制で
ガンバります

冷房の効いたラオスの日本大使館で、お雛さまを鑑賞する機会があった。暑い所で見るとお雛さまは、不思議な感じがした。

以前は、「いくら暑くてもここだけは日本なんだ」という感想だったが、今回は季節感が無い所では、四季を体感する重要な行事なのかも知れない」との思いに変わった。

今年の冬は、平地での雪は少なかつたものの、中山間地では昨年以上の積雪となった。しかしながら、その雪が美田を潤し、春満開の草花の養分になっている。寒い冬があった分、春はまさに四季の美しさを実感する季節である。



先日、月山ジオパーク推進協議会が、西川町、鶴岡市、戸沢村、大蔵村、庄内町を中心に設立された。広域連携と地域の宝を、月山をランドマークとして全国発信しようとするものである。

地方創生は、知恵くらべ、宝みがきとも言われる。地域特性を生かし、戦略をもって情報発信したいものである。(富樫 透)

発行人 議長 富樫 透
議会広報常任委員会
委員長 五十嵐啓一
副委員長 齋藤 秀紀
委員 上野 幸美
委員 澁谷 勇悦
委員 鎌田 準一
委員 國分 浩実

平成27年度
予算

3つの大型事業可決

3月
定例会

余目保育園新園舎補助金 **3億4千840万円**・新学校給食共同調理場 **2千392万円**・消防署立川分署 **2億5千765万円**

ガス事業	6億5千341万円 (賛成全員で可決)
水道事業	8億5千669万円 (賛成全員で可決)
風力発電事業	5千341万円 (賛成全員で可決)
下水道事業	8億2千580万円 (賛成全員で可決)
農業集落排水事業	2億5千847万円 (賛成全員で可決)
簡易水道事業	2千391万円 (賛成全員で可決)
介護保険	25億9千412万円 (賛成14 反対1で可決)
後期高齢者医療保険	2億2千840万円 (賛成14 反対1で可決)
国民健康保険	26億9千417万円 (賛成14 反対1で可決)

特別会計

特別会計合計額は81億8千838万円です。



子どもたちの未来に生かせ 余目二小まつり

一般会計

平成27年度予算は、施設整備に重点配分を行い、合併以降で最大となりました。予算総額は、197億8千238万円（一般会計 115億9千400万円 特別会計合計 81億8千838万円）です。

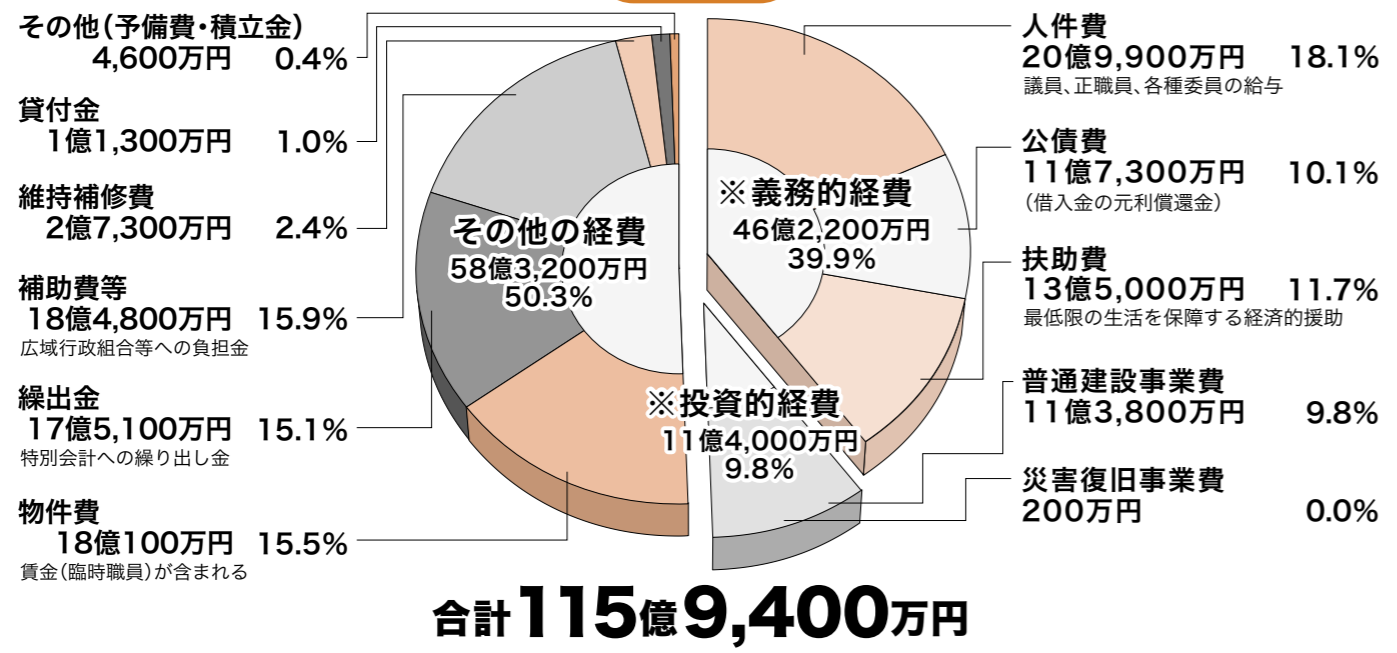
主な増加要因は、余目保育園新園舎建設に係る保育所緊急整備事業補助金3億4千400万円、新学校給食共同調理場整備事業の設計費等2千392万円、消防署立川分署改築工事2億5千765万円、道の駅整備事業費384万円、公共施設等除却事業4千976万円等があげられます。

合併以降最大予算

施設整備に重点

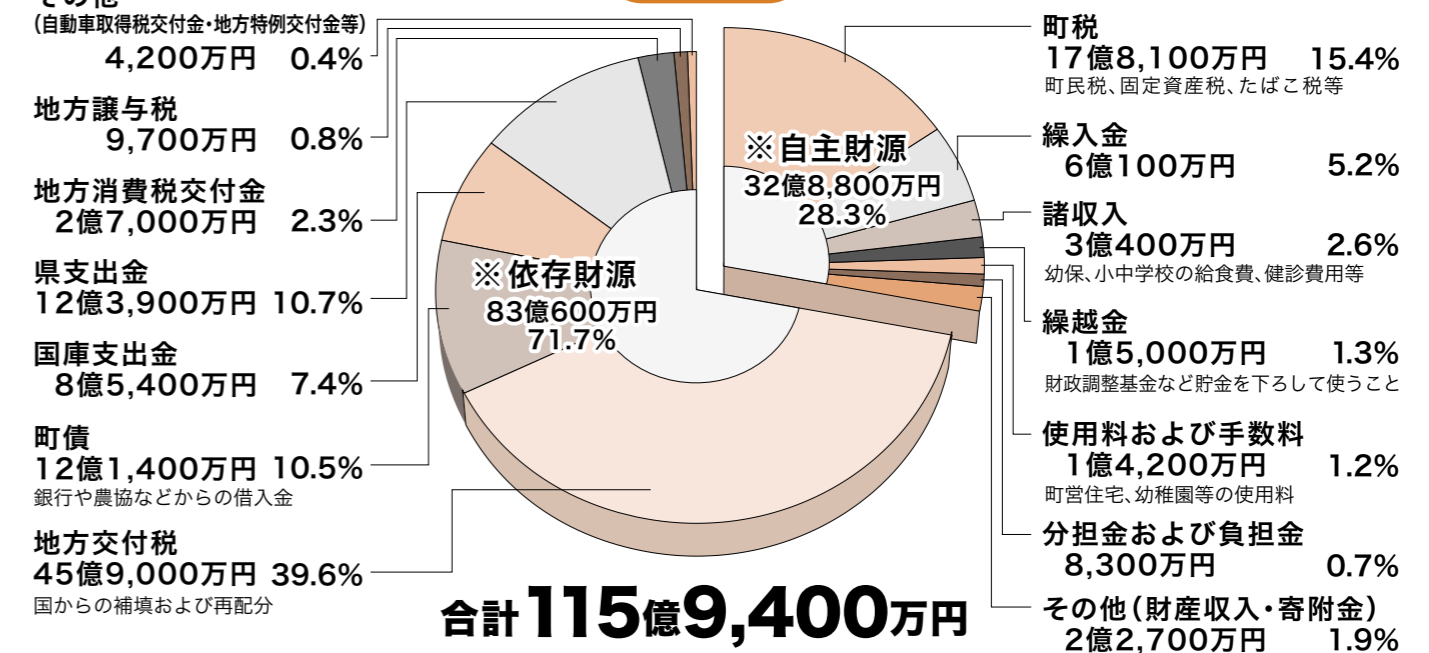
3月定例会は、3日から16日までの14日間の会期で開催しました。予算特別委員会では、3日間の審査を行い、本会議最終日に一般会計を13対2で可決しました。一般質問では、13人の議員が行政全般に対し、質問と政策提言をしました。

支出



※ 義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。
 ※ 投資的経費：施設など、財産として将来に残るものにかかる経費をいう。

収入



※ 自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。
 ※ 依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

平成27年度 目玉予算 と施設整備

拡充 祝金制度

持家住宅建設祝金
(新築の場合)
現行の対象工事費
7% (上限70万円)
10% (上限100万円)

住宅リフォーム祝金
現行の対象工事費
10% (上限20万円)
20% (上限30万円)

対象の世帯
●三世代世帯 ●移住世帯 ●新婚世帯 ●子育て世帯

さらに上乗せ
県産木材
3㎡以上使用で
対象工事費
10% (上限30万円)
20% (上限40万円)



すくすく保育園前 新園舎建設予定地

新築 民営余目保育園

民営化のメリットは、県(国)の補助金が受けられることです。
総事業費 3億9千560万円
内訳
 3億4千839万7千円(※保育所緊急整備事業補助金)
 4千220万3千円(社会福祉法人和心負担分)
※保育所緊急整備事業補助金
3億4千839万7千円(平成27年度予算)
財源内訳
 1億2千980万9千円(県(国)補助金)
 2億1千850万円(庄内町負担分(過疎債))
 8万8千円(庄内町負担分(一般財源))



安全・安心な給食を 調理場建設予定地

建設予定 新学校給食共同調理場

狩川福祉運動場広場に
整備事業費(設計費等) 2千391万6千円
内訳
 306万8千円(地質調査業務委託料)
 2千84万8千円(実施設計委託料)

安全・安心でバランスの良い給食が庄内町の子どもたちへ
 一斉に届きます。

改築移転 消防署立川分署

余目分署同等の機能強化で立川分署の建設が始まります。
 国道47号線沿いで風車市場近くの旧狩川ドライブイン跡地です。

総事業費 2億8千446万円

内訳
 2千660万円(土地購入費1千600万円を含む平成26年確定)
 2億5千765万円(※消防署立川分署建設負担金)
 21万円(水道加入金 中間・完了検査料等)

※消防署立川分署建設負担金 2億5千765万円
(平成27年度予算)

財源内訳
 2億4千470万円(合併特例債)



改築決定 国道47号沿いに移転



祝金拡充で定住促進

予算特別委員会



信念を持って起立採決

平成27年度の一般会計予算と、9件の特別会計予算を3月10・12・13日の3日間の日程で審査し原案どおり可決しました。

予算特別委員会とは
 新年度予算が、町民の幸せのために有効に使われるのか、予算の審査を行います。



委員長 吉宮 茂
 副委員長 押切 のり子



小林 清悟 委員
問 今後予測される財政状況の厳しさに備えるため、現在、3億円の縮減を指す行財政改革に取組んでいる。そのなかで、平成27年度で事業をやめるとして縮減の効果額に算入されている事業が、名称や内容の一

町長 平成27年度は取り組みの最終年度である。計画期間内でやめる事業は、各担当課からあがってきたもので、信じて効果額に算入した。

町長 各課で内部検討を行い、経費削減をつとめていきたい。

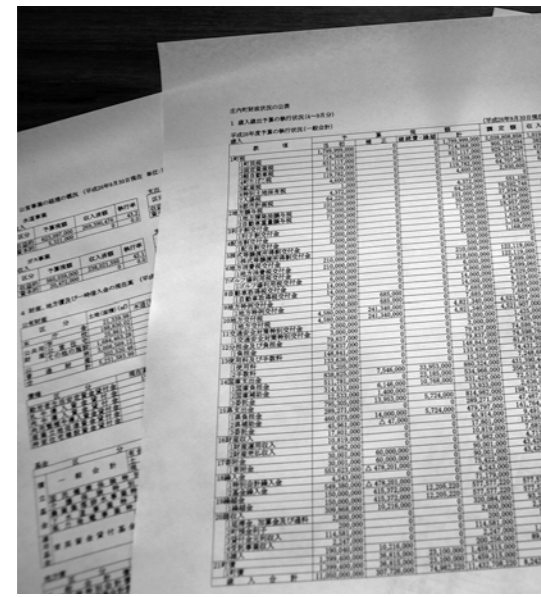
小野 一晴 委員
入を計りて 出るを制せよ



後年度負担をどうするのか 新庁舎建設

工藤 範子 委員
財政難 大丈夫か
問 平成27年度予算は、過去最高の115億9千400万円である。国の交付税が※一本算定になると厳しくなる。平成31年度の公

債費負担比率は、20.3%になっているが大丈夫か。



求められる行財政改革(予算書 町HPより)

業務委託の長期継続契約を
問 各業務の委託は、公平性・経済性等から、先例など従来の枠組みや考え方にとらわれることなく、競争性のある方法を活用し、契約は、すべてを精査して「長期継続契約」を行い、経費削減に務めるべきである。

町長 財政シミュレーションについて、近年は精度が増し、2年先まで大きな狂いが出ていないことを評価する。

そこで、このシミュレーションを自ら課した財政規律として生かすために、役場本庁舎の改築などの大型事業の経費を、概算の段階から算入すべきと思うかどうか。

町長 適正比率を守りながら、財政運営に支障があらぬようにしたい。

※一本算定 旧余目町、旧立川町算定が10年間継続されてきたが、11年目から庄内町としての算定が行われること。

予算総額 197億 8238万円 どう使われるのか

齋藤 健一 委員

町内の入札者を指定せよ

問 消防署立川分署が、平成27年度新築されるが、庄内町からの入札者を指定すべきである。

町長 発注者の酒田地区行政組合と覚書を締結し、そのように実施したい。

齋藤 秀紀 委員

公共施設除却 有利な選択を

問 除却債の有利な起債とは何か。その後の跡地利用はどうするのか。

町長 合併特例債である。計画は除却までなので跡地利用は未定である。

上野 幸美 委員

「放課後子ども教室」内容は

問 平成27年度から実施される「放課後子ども教室」の実施内容はどうか。

町長 平成27年度から実施される「放課後子ども教室」の実施内容はどうか。

村上 順一 委員

敬老支援は どうなるのか



健康あるところ笑顔あり

町長 1千200円から1千300円への増額ではあるが、将来的な支援のあり方は今後議論していきたい。



落瓦注意、早期解体が望まれる (旧清川小)

町長 今回の計画は除却であり、利活用の計画にはいたっていない。計画だけでは単独、併用もできない。

教委 「夢サポート塾」は、二、三学期の土曜日に、第二狩川公民館で、希望する中学生を対象に、英語・数学教科を中心に、退職教師がボランティアで講師を務め、約25回学習支援を行う。

問 平成27年度から高齢者のつどいを廃止し、各集落で実施する敬老行事を厚く支援する予定ではなかったのか。

鎌田 準一 委員

教育にかける 予算は十分か

問 小中学校教材備品等の予算額算定基準は、どう決めているのか。国庫補助があるが、少額である。また、小学校のコンピュータ教育推進に1千600万円予算計上され

ているが、具体的にどういう事が。

教委 予算額は、各小中学校より希望を取り算定している。国庫補助は、理科備品のみで、教材・図書予算は自主財源である。

コンピュータ教育推進予算は、算数の電子授業のPC保守レンタル料がおもである。

澁谷 勇悦 委員

長寿祝金 全員に交付すべき

問 長寿祝金等は6月1日を交付基準としている。基準日前に不幸があった場合、交付対象外となる。これでは数え年と定めている意味がない。数え年の趣旨や長寿への祝意から、1月1日現在の対象者全員に交付すべきでないか。

石川 保 委員

病児・病後児保育の導入予定は

問 余目保育園の民営化で、新園舎の建設も平成27年度中の完成が見込まれている。建設計画では、病児病後児保育室3室も整備予定となっている。「すくすく保育園」で実施されている内容と違うのか。



みんな仲良く元気に登園 (狩川幼稚園)

上野 幸美 委員

不妊治療・妊活を

平成27年度特定不妊治療費助成に、男性二人分が予算化された。不妊治療は、男女ともに考えられることから、※「妊活」(交流や

情報交換含む)を企画してはどうか。

町長 個人的なことはあるが、当事者にとっては、大切なことなので今後検討したい。

三川町内にある「いのこ保育園」が先例となっており、平成28年4月開園予定の新園舎で、導入が予定されている。



いつまでもお元気でいてください

町長 本定例会で「元気で長寿お祝い条例」の改正が承認された。考え方は6月1日時点で元気でご長寿な方に交付したい。

予算特別委員会

※妊活 基本的な妊娠するための様々な活動や不妊治療等を行うこと。

※空き家再生等推進事業 国の補助が1/2で実施される空き家の活用事業

風車村・防災無線



石川 武利委員

風車村 村長の業務は

問 平成26年度は、風車村村長の業務はなかつたと聞いている。改めて村長の業務は何か。

町長 村長の具体的な業務は、機構改革のなかで、細かく整理していくことになる。



どう生かす、ウィンドーム

五十嵐啓一委員

無駄づかいではないのか

問 風車村に、非常災害時の電源確保のため、5kwの太陽光発電と5.5kwの蓄電池設備費、約2千500万円を予算計上した。この程度の発電設備では、非常時は、機能しないし税金の無駄づかいである。さらに、風の町のイメージダウンになるのではないのか。

町長 この事業は、北月山荘の再生エネルギー等設備事業の入札差金(余った)の活用であり、無駄づかいと思っていない。電気容量は少ないが、非常時の通信機器の電源等に活用する。

齋藤 健一委員

防災行政無線 早期整備せよ

問 立川地域の防災行政無線は、昭和58年に設置、老朽化で聞き取りにくいと意見があった。アナログからデジタル化への整備はどうか。

町長 平成28年度に立谷沢・清川地域、29年度に狩川地域を整備したい。また、土砂警戒地域722戸には戸別受信機を設置する。

農業・企業誘致



押切のり子委員

地域おこし協力隊 生かせるか

問 風車市場に「地域おこし協力隊」を活用しているが、現場からの強い思いがあつてこそ生かされる事業と思うがどうか。

町長 現場からの声はないが、有利な補助金であるため、町が活用することに決めた。



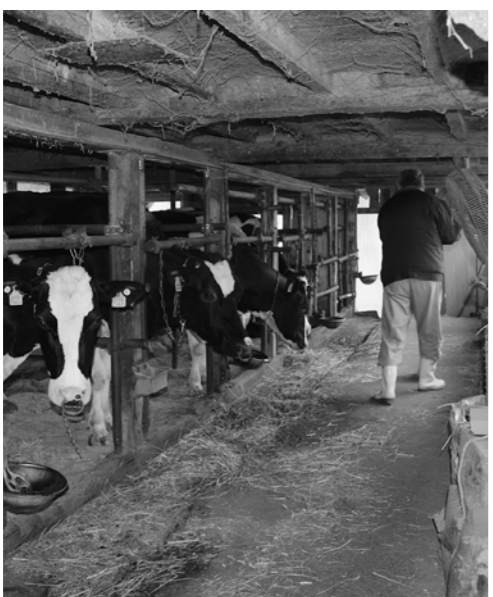
防災無線はデジタル化を全町に拡大

石川 武利委員

畜産振興の現状は

問 放牧場管理運営費は、約500万円を見込んでいる。広域的な利用で畜産振興に努めているが、酪農戸数、後継者等の現状はどうか。

町長 酪農戸数、後継者は、いずれも減少しており、将来



酪農家も経営が大変

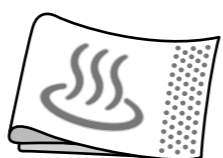
國分 浩実委員

企業誘致本気出せ

問 企業誘致に係る活動費39万円は、どのように使われるのか。本気度が伝わらない。消極的予算と見えるがどうか。

的に不安となつていく。今後とも支援して行きたい。

観光・その他



工藤 範子委員

町湯 もっと使いやすく

問 町湯は、待ちにまつたのオープンである。だが、町

町長 庄内町とゆかりのある企業経営者等と各種会合で会いし、種をまいている。成果が出るよう努力している最中である。

民に添った施設となっていない。高齢者、障がい者にとつても利用しやすい温泉でなければならぬ。いつ、改善するのか。

國分 浩実委員

ケビン利用者 拡大せよ

問 北月山荘ケビン等の利用料に、伸びが見られない。HP、料金設定の改善で入込数増加を図れないか。

町長 料金表示の統一や、お得感を持つてもらえる企画など、入込数増加に努力していく。

押切のり子委員

仲人制度対策急げ

問 婚活支援事業の取り組みの、町民相談窓口がない。また、イベント事業に参加できない人への手立てとして仲人制度の対策はないのか。



北月山荘ケビン もっと利用して

町長 平成27年度から相談窓口は設置される。仲人制度は今後検討していきたい。

改革 教育行政責任の明確化 議案



国の制度改正で教育行政の効率化

○教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者です。
○教育委員会の会計業務全般と教育委員会を代表します。
○任期は3年です。(委員は4年です)
○教育委員から教育長に対し教育委員会会議の招集を求めることが

新教育長とは

できます。また、委任された事務の執行状況を教育委員会に報告します。
○町長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行います。
(現教育長の任期が満了となる8月からになります)

総合教育会議の設置、大綱の策定

町長は、総合教育会議をもうけます。会議は、町長が招集し、町長、教育委員会により構成されます。
会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行います。調整された事項について構成員は、調整の結果を尊重しなければなりません。

教育行政の組織及び運営に関する改正。

賛成14 反対1で可決



「風サミット」成功に向けて

賛成全員で可決

課設置条例の改正。

各課を機能強化し役割としての総合力を高めるため、**※環境課環境係を保健福祉課に**、**※環境課新エネルギー係を商工観光課に移し、環境課を廃止**しました。
※環境課環境係とは、環境衛生及び環境対策に関すること、自然保護に関することを担当します。
※環境課新エネルギー係とは、風力発電及び新エネルギーに関することを担当します。

新教育長制度と環境課廃止を決めました

町長 予算編成方針と討論



五十嵐啓一

反対

平成27年度は、合併から10年経過の節目の年、「庄内町総合計画」最終年度、「第2次庄内町総合計画」策定の重要な年にあたる。併せて「新・まちづくり計画」や「庄内町過疎地域自立促進計画」も最終年度となり、ひとつの町として完全なる自立の時期、真の「庄内町」として再スタートを図る重要な時期である。合併前のサービスを維持する施策や「合併推進のための特別な施策」を完了させることも含め、現制度に終止符を打つ英断もしながら、将来世代の負担軽減に向けて、蓄えのある強い財政、自立で

費用対効果を考えよ

1つは、風車村の事業に対する予算措置は、北月山荘の整備事業費が約5千万円ほど差金(余った)が生じた。補助金を全部使い切れなかったから、何かに使用するようなことではないのか。
2つは、非常災害時の避難場所としての機能確保するために、5kw

将来世代の負担軽減



町長

の太陽光発電と5.5kwの蓄電池の導入である。この規模の太陽光発電や、蓄電池設備は非常災害時の電源供給には適していない。
3つは、防災拠点に太陽光発電の街路灯9台、風車村にハイブリッド街路灯2台の事業に、2千400万円の事業である。この事業は一旦白紙に戻し、風車村の今日までの歴史や、今後の活用を考えた事業を行うべきである。



工藤 範子

高齢者にいたわりを

平成27年度の交付税は42億9千万円、28年度から徐々に減額、31年度で39億4千9百万円27年度より3億4千百万円の減、一方31年度の公債費負担比率は、20.3%になり財政運営が警戒ラインと示されている。財政運営が疑問である。歴史民俗資料館は閉館せず収蔵資料の整理と合わせ運営協議会の議論を踏まえ、亀ノ尾の里資料館と統合すべきである。
余目保育園の民間委託は性急である。町湯は高齢者、障がい者にも利用しやすい施設に改善すべきである。

討論とは

予算や決算などの重要案件の採決前に賛成か反対意見を表明することです。その目的は、自分の意見に反対する人や、賛否の意思を決めていない人を自分の意見に賛同させることにあります。

反対した議員

五十嵐 啓一
工藤 範子

村上 順一
小野 幸美
石川 清悟
小川 保晴
鎌田 一実
國分 浩一
齋藤 健一
押切 のり子
吉宮 茂紀
齋藤 秀悦
澁谷 悦利
石川 武利

賛成した議員

平成26年度 補正予算

緊急地方創生事業可決

地域振興商品券発行事業 3千700万円 低所得者生活支援事業 720万4千円 少子化対策事業 904万8千円

有効活用はアイデア次第

国の地方創生に係わる交付金の決定により、本町への交付額1億600万円と事業について、賛成全員で可決した。

地域消費喚起型

地域振興商品券 発行事業

3千700万円

町内商工業者の販売増進と、消費者の消費拡大および緊急生活応援を行うために、プレミアム付商品券を発行します。

ふるさと名物商品・ 旅行券発行事業

800万円

委託予定先のサイトに専用コーナーを構築し、本町名物商品は3割引で、町内宿泊施設を利用する旅行券は5割引で発行します。

米消費拡大ふるさと米 贈答プレミアム事業

200万6千円

県外に居住する家族、

生活支援型

低所得者生活支援事業

720万4千円

親戚等に庄内産米を贈答する際、精米10kg購入につき800円引、20kg購入につき1千600円とします。

低所得者世帯の経済的負担の軽減を図るため、町民税非課税世帯に対し、町内加盟店で

子育て応援事業

318万6千円

利用できる商品券（1世帯当たり5千円）を支給します。

両親若しくは片親のいない児童の福祉向上のため、その保護者に対して商品券を支給します。（両親のない児童3万6千円・片親のない児童1万2千円）

米消費拡大子育て応援 米プレミアム事業

225万8千円

扶養する子供の人数に応じて、町内産米購入の際に割引をします。



庄内町は観光の魅力でいっぱい 楯山公園

地方創生先行型

地方版総合戦略 策定事業

1千575千円

「人口ビジョン」および「庄内町総合戦略」等を策定するために、必要な専門的調査や、地域活性化アドバイザーによる指導助言を受けます。

介護職員初任者 研修事業

1千200万円

人材育成、雇用定着に向け、地域での介護人材育成、正規化により地元定着を図ります。

観光ホームページ作成 委託事業

268万1千円

本町観光の特徴や個性をわかりやすく情報発信するとともに、利用者の「使い勝手」と「見やすさ」を重視した観光ホームページを作成し、予約や販売を促進するためのツールの提供など、IT機器

を活用した情報提供を行います。

少子化対策事業

904万8千円

妊娠・出産から高校卒業までの間、それぞれの段階を捉え、記念品贈呈並びに経済的支援を含め、子育てを支援し、少子化対策に寄与します。

その他の事業

157万2千円

月山ジオパーク構想 商工業振興支援事業が予定されています。

庄内総合高等学校 支援事業

619万9千円

地域への若者定着を図るため、庄内総合高等学校生徒に対し、支援事業助成として商品券を支給します。

婚活支援事業

157万2千円

少子化対策として、広域連携により婚活支援のネットワークを形成します。

起業家応援事業

200万円

起業による新たなビジネスや雇用の創出を促進するとともに、空き店舗活用による商店街の活性化を図ります。



起業応援でビジネスチャンス アピオ・かほり惣菜

町政を問う



余目中学校卒業式 自分の進路に向けて力強く翔け

3月5、6、9日の3日間にわたり、13人の議員が28項目について質問しました。質問は、行政全般にわたり町当局に対して事務の執行状況、将来における政策指針を議員個人として問いただすものです。

- | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>國分 浩実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ふるさと応援寄附金」の記念品について ○庄内総合高校への支援事業について ○庄内について ○婚活事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>押切のり子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○婚活事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>小林 清悟</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>上野 幸美</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>吉宮 茂</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>鎌田 準一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>工藤 範子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>澁谷 勇悦</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>齋藤 秀紀</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>五十嵐啓一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>石川 武利</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>齋藤 健一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について | <p>小野 一晴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○婚姻事業の体制について ○宅配システムについて ○高齢者への地域支援事業について ○認知症高齢者への対策について ○山形新幹線の庄内延伸について ○町長の考える議員・議会像について |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|

●印の内容要約を以下17ページから23ページ上欄までに掲載しています。会議録は、6月上旬ころから各地区公民館などで閲覧可能となる予定です。また、庄内町議会ホームページでも見ることができます。

ふるさと応援寄附金 納税 記念品選択肢を増やせ



議員 國分 浩実

町長 拡充する

問 「ふるさと応援寄附金」の記念品は農産品が多い。周辺自治体でも農産品である。町内の経済団体ともしっかり連携を強め、商工関連品へ選択肢を広げられないか。

町長 本年度へ向け、町の特産品を扱う部署が集まり企画会議を行い、商品構成の検討をしている。現在の22品目から32品目に幅を広げたいと考えている。

長崎県平戸市の「無期限ポイント制度」といったような、単に記念品を送付するだけでなく、来町による交流や継続的な寄附につながる考えはないのか。継続して寄附していただくことが一番大事なポイントである。寄附者の了解を得ながら色々な情報提供する。また、地方創生とふるさと納税を組み合わせていくことも必要なことではないかと思う。日本全国で知恵比べが始まっている。町としても平成27年度は2億円を最低ラインとして向かっていきたい。

問 北海道東川町の「株主制度」



アイディア一つで選択肢が広がる

町湯 町民の声に対策を示せ



議員 押切のり子

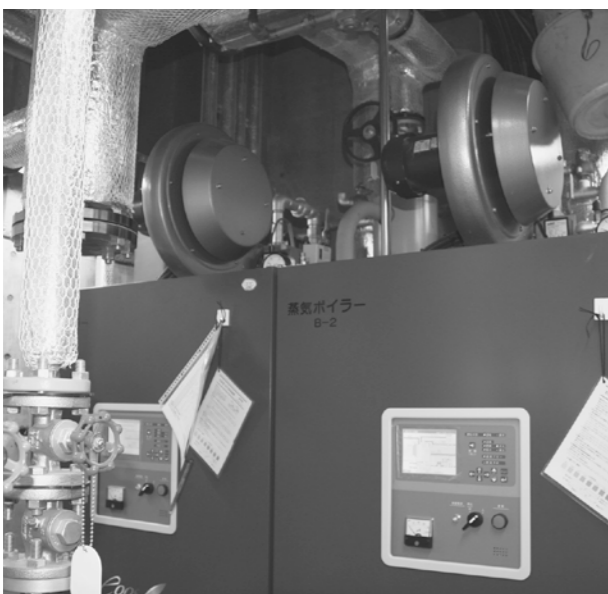
町長 コンセプトを大事にしたい

問 町湯に対する※コンセプトは、利用客が求めているものにとギャップがある。町湯の経営安定は、他町村からの利用客の拡大を図り、利用客の思いに伝えることが大切である。多くの町民のギャラリにテレビの声を伝えることもその一つではないか。

町長 町湯の開設後にボイラー工事の入札が行われている。テレビは検討したが日常生活と異なった雰囲気を楽しんでいたかどうかという温泉の特徴から、あえて設置していない。

町長 給水給湯制御設備改善工事では、内風呂と露天風呂の温度調整が難しい状況があった。一番の目的は湯量の確保、副次的効果として露天風呂の管理がしやすくなる。緊急性があり、既決予算で対応した。

問 町湯に対する※コンセプトは、利用客が求めているものにとギャップがある。町湯の経営安定は、他町村からの利用客の拡大を図り、利用客の思いに伝えることが大切である。多くの町民のギャラリにテレビの声を伝えることもその一つではないか。



いつの間にかボイラー設置 町湯・新設ボイラー

高齢者 対策

支え合いの仕組みをつくれ

町長

慎重に検討したい



小林 清悟 議員

問

全国では人口減少や高齢化の進行で、限界集落や老介護、孤独死などが問題になってきている。本町でも高齢化率が年々高くなっており、高齢者の見守り活動や安否の確認は重要である。また、町民アンケートで住みたくない理由に、買物不便があがっていた。そこで、買物不便の解消、高齢者の見守りや安否確認を行い、簡単な用事も足してくれる「支え合いの仕組み」を、町と

風車市場が協働でつくれるか。

町長

町民アンケートを見ながらいろいろな状況を想定している最中である。住民の不安をいかになくしていくかは、町全体の課題として考えている。さらに分析を進



地域の拠点になるか 風車市場

高齢者 地域支援

地域活動の定着を図れ

町長

検討して進めたい



上野 幸美 議員

問

平成29年度までの要支援サービスの移行を踏まえ、団塊の世代が後期高齢者となる10年後を見据え、介護予防活動等を地域で自主的に取り組む組織づくりを推進すべきでないか。

供できるサービスを検討し、制度づくりを進めていきたい。

町長

現在実施されている社会福祉協議会の「いきいきサロン事業」は、身近な地域で、より多くの人気が軽に参加できる活動である。主旨を広く



介護不要 元気が一番

周知し、全町活動とするための前段階として、各地区にモデル集落を設け具体的に支援し、地域活動の定着を図るべきでないか。

町長

モデル集落を設け、特化した事業を推進していくことも一つの方法かと思っている。社会福祉協議会と連携し、相談しながら取り組んでいきたい。

山形 新幹線

町長

庄内全体の利益を考える



吉宮 茂 議員

問

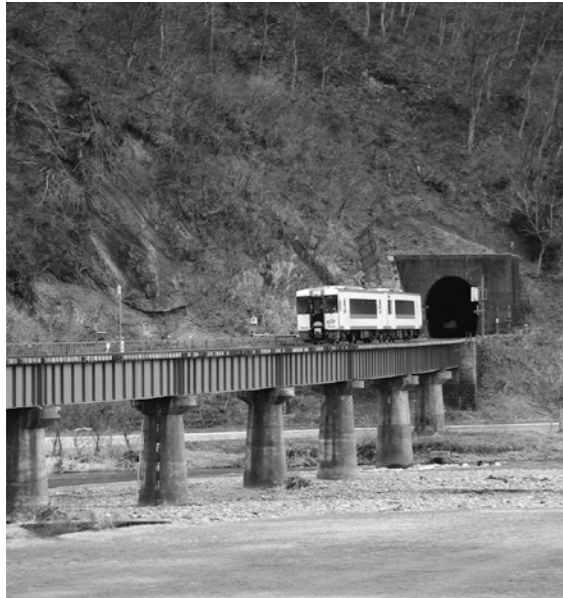
山形新幹線の庄内延伸に向けた動きが活発化している。県内を新幹線で結ぶことにより、通勤圏の拡大、庄内全体の産業・観光・文化の発展が期待される。本町も延伸運動に積極的に参加してはどうか。

町長

①庄内延伸は、酒田市、遊佐町、本町は前向きに考えている。単純に両市のメリットに立てば綱引きになるが、庄内全体の利益という考え方で、より実現性の高い方向で運動の度合いを考えていかなければならない。

町長

②県は羽越新幹線と奥羽新幹線の整備促進に向けたワーキングチームを発足している。知事としては、フル規格の整備新幹線にこだわっているようである。③陸羽西線の現状からして、最上川舟下りとの連携は欠かせない。新幹線に限らず、戸沢村としっかり連携していく。



いつになる、新幹線延伸

イルミネーション

町長

次期計画で夢を描きたい



鎌田 準一 議員

問

クラッセ周辺の夜は暗く、拠点としてのイメージ不足が否めない。そこで、LEDを利用した「まちなかイルミネーション」を提案する。クラッセ周辺からスタートするが、協働と参画によるモデル事業として、5年程かけ町をキャンパス化し絵を描くように展開していく発想だ。効果としては、実践する過程でイルミネーションパターンを増やせば様々なイベントで

町長

この提案は、賑わいの創出や観光推進に有効かと思う。新たな中心市街地活性化基本計画の検討のなかで、議論になっていく部門かと思う。ただ単にきれいだから

町長

らでは予算を使うのが難しい。何に生かして、その効果がどう出せるか等も含め、観光協会のなかで検討したい。仙台市のように募金を募っている例もある。そうした活動が住民の協働と参画にも繋がっていくのではと思う。そうした気持ちを醸成していくのも我々の仕事ではないか。次期計画のなかで夢を描きたいと考えている。



新たな視点でまちづくり

13人の提言

工藤範子議員・澁谷勇悦議員

介護保険

保険料を軽減せよ

町長 国に合わせて実施する



議員 工藤 範子

問 10年後の高齢化率は、39.1%と推測されている。介護計画は、3年に一度策定しなければならぬ。10年後を見据えた内容となっているのか。また、介護施設等は十分か。

第6期介護保険計画期間内に介護施設の建設予定はない。介護保険料を軽減するために、一般会計から繰り出しを検討すべきである。すでに、北海道長沼町(高齢化率30%)では、第5期1億円、第6期8

千万円の繰り入れで、住民福祉の向上に努めている。本町も町民負担を軽くすべきでないか。

町長 国では保険料の減免措置を一部実施する予定になっている。町でも介護保険条例の一部改正を予定しており、政令が出た段階で施行日を定めることとしている。

町長 団塊の世代が75歳を迎える10年後であるが、「元気で長寿」を目指していただくしか道はないと思う。まずは、健康維持のための環境づくりを行っていくことになろうと思う。



介護保険料、家計の重荷

都市計画

狭い道路を整備せよ

町長 長い期間が必要である



議員 澁谷 勇悦

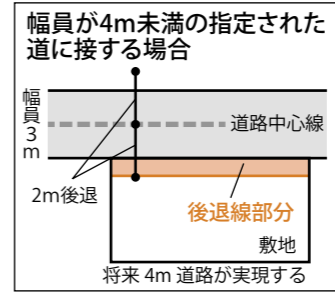
問 都市計画地域内の幅員4m未満道路では、自分のもので自分のものでない状態が生じることがある。この部分は課税され、売買などで問題もある。この解消のため、他市町では、税の減免や土地の借用・寄贈・買い上げによる所有権の移転などを行っている。

町づくりの一端とすべきてないか。町長 都市計画地域内の4m未満道路に適用される道路後退線部分は約60カ所、距離にして6kmほどあると把握している。将来的に道路を拡幅する場合の用地となるため、個人所有の土地であっても建築物等は

本町でも、速やかに屋並みの確認や関係資料を整備し、施策をまとめ、次期総合計画に位置付け、安心安全な



拡幅が進まない4m道路



※道路後退線部分例

一切作ることができない規定になっている。現実問題として、消防活動や日照、風通しのデメリットがあるが、解消には長い期間のなかでタイミングを図っていききたい。

地方創生

アイデア勝負せよ

町長 個々対応する



議員 齋藤 秀紀

問 地方創生目標値としての将来人口と財政面(国からのお金減少)での将来人口が考えられるかどうか。

町長 将来人口は、2040年には1万4千人程度と推計されている。目標数値は調整を図っていききたい。問 合併10年で立川地域の人口減少が3倍、対策はどうか。

町長 物をどう生かしていくかに力を注いでいくのではないかと思う。問 少子化対策で独身数と理由の把握をして、婚活事業をできないか。町長 婚活事業は県のサポートセンターと手を組みながら支援をしたい。問 県の地方創生と連携するの

町長 県と意見交換しながら総合戦略を策定していく。問 山形版ネウボラは魅力的であるが考えはどうか。町長 山形版ネウボラの具体的内容の説明は受けていない。問 人口減少で小学校の廃校は衰退を意味する。五つの小学校を核とした町づくりで環境整備ではないか。町長 五つの小学校を中心として、当面その方向で努力していく。

立谷沢流域

魅力アップを図れ

町長 一元化を考える



議員 五十嵐啓一

問 本町へ観光客を呼び込むためには、羽黒古道と鶴巻池周辺のトレッキングコースの整備が必要ではないか。町長 羽黒古道や清

り組むべきでないか。町長 地方創生のなを一元化した観光パークを作っていく必要がある。情報発信をしつかりしながら、観光協会の機能強化を図っていききたい。問 流域全体のPRとそば街道の

拠点も兼ねた、休憩所を木ノ沢地区に設置してはどうか。このことを実施するには、行政主導ではなく、アイデアや行動力のある人材の発掘を行うべきでないか。町長 木ノ沢や羽黒古道の登り口と周辺に拠点を作ることについては、そば街道の件も含めて、地元の方々と相談しながら進めていきたい。

町長 人口の減少については、その地域の資源、地域の宝



地方創生は知恵くらべ

問 立谷沢地区と羽黒山を周遊するサイクリングコースを設定して、観光資源の開発を図り誘客に取



まだまだ発展の余地あり

ここが聞きたい

齋藤秀紀議員・五十嵐啓一議員

スポーツ振興 振興策の再構築を 連携し取り組む



石川 武利 議員

問 平成24年に「スポーツ基本計画」が制定され、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」も改正された。そのため町長部局でもスポーツ振興を担うことができ

- ① 体育協会の振興策
- ② スポーツ少年団の振興策
- ③ 総合型地域スポーツ



2020年 目指せ オリンピアン

クラブの振興策
 ① 体育協会の振興について、教育委員会としても組織の強化を支援し、競技力の向上や町民の健康増進に繋がる事業について、連携を深めながら取り組んでいきたい。
 ② スポーツ少年団は30単位団があり、加入率は45.92%で県内トップクラスである。今後ともスポーツ少年団本部と連携し、活動を進めたい。
 ③ 総合型地域スポーツクラブの会員は408人で、年々増加している。総合体育館と連携を図り、町民の健康増進を担う組織として、活動の充実を図っていく必要がある。

旧狩川小学校 介護施設増設せよ 次期計画で対応したい



齋藤 健一 議員

問 狩川小学校は老朽化し危険建物になっており、早期解体すべきであるがどうか。

町長 旧狩川小学校は、取り壊しの要望を受け、町の負担を減らし解体できないか検討し、国にも要望をしてきた。このほど、除却費用について町全体の計画を立て、平成27年度予算に計上している。
 問 跡地利用として社会福祉法人「立川厚生会」(山水園)



増床にむけ、解体を (旧狩川小)

より、「地域密着型小規模特別養護老人ホーム」建設のため譲渡の要望書が出されている。山水園には130人の待機者があり、土地譲渡の考えと、町の第6期介護保険事業計画と関連するが施設増設の考えはどうか。
 町長 介護施設建設の要望も受けており、相手方との話し合いもしている。この解体と併せ、時間的余裕を持たせ、第6期介護保険事業計画には加えていないが、7期計画には対応が必要であると考えている。

本庁舎建設 計画的に進めよ



小野 一晴 議員

問 役場本庁舎が耐震強度の問題で限界にきている。平成25年度に新庁舎改築に関する検討委員会を立ち上げているが、改築するという結論が出ているのか。

町長 平成25年度に役場内部で庁舎建設の方向性を協議した。今年度からは、職員と有識者で構成する「整備検討会議」を設置し、整備のあり方を取りまとめたかと考えている。



まったなし 庁舎改築

問 改築するとなると「新まちづくり計画」の変更が必要であり、建設場所の選定、基本・実施設計、近年見られる入札の不調の可能性など、建設工事の工程を総合して考えると合併特例債の起債期限である平成32年に間にあうのか。タイムスケジュールを立てているのか。
 町長 平成27・28年度に基本構想と基本計画を策定し、平成29年度までに設計に入り、遅くとも平成30年度には建設工事に着手し、合併特例債の活用期限である平成32年度までに完成するようなスケジュールで現在考えている。

読者目線を反映



町民目線でアドバイス

- 三輪 慶吉さん (西袋) 向かって右側着席
- 高橋 嵩さん (上朝丸) 向かって左側着席

庄内町議会広報モニター 二人に決定

議会広報モニターを前回の広報で呼び掛けるところ、2人の方より協力をいただくことになりました。
 モニターの仕事は、編集委員が気づかないことなどを、印刷前にモニターとして参加していただき、読者目線でチェックをお願いするものです。

より良い町づくりのために

生かせ提言

産業建設 常任委員会

テーマ 空き家等の適正管理

調査目的 平成25年7月1日より「庄内町空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、問題のある空き家の適正管理を所有者に求めているが、解決に至っていないため調査する。

- **現行条例の問題点**
 - ・ 空き家の認定基準を定めるべきである。
 - ・ 町が応急措置を実施できるような条例に明記すべきである。
 - ・ 問題のある空き家に対し、行政代執行を条例に明記すべきである。
 - ・ 罰則など不利益処分
- **このように提言しました(抜粋)**
 - の適正な管理のため、調査、審議する審議会を設置すべきである。
 - ・ 過料(罰則)を、条例に明記すべきである。
 - ・ 解決に繋がるための財政上の措置を検討すべきである。
 - ・ 空き家問題解決のため町独自で減免措置を

このように提言しました(抜粋)

実施できるか、検討すべきである。

- **国の事業を活用した対応の可能性**
 - 国の交付金を活用した、中心市街地居住促進事業等への取り組みを検討すべきである。

● **空き地の適正管理**
適正に管理されていない問題のある空き地の情報提供はないとしているが、実態調査を行うべきである。



空き家の実態、早期に調査せよ

増加する空き家に対処策

庄内町の現況は(要旨)

- **問題のある空き家への対応現状**
 - ・ 空き家の認定は、地域や行政区長から、苦情や情報提供による。
 - 町で調査はしていない。
 - ・ 町は基本的には個人財産への関与はできないとしている。
 - ・ 緊急を要する空き家にロープを張り、立ち入り制限している。
- **空き家管理条例の制定**
 - ・ 空き家に関する行政の対応は、改善命令を受けても応じない場合、公表までしか明記されていない。
 - ・ 空き家が放置されている現状は、所有者に血縁者がいないか、または、資力不足によることが多い。

総務文教厚生 常任委員会

テーマ 健康寿命の延伸

調査目的 本町で取り組んでいる「元気で長寿日本一のまちづくり」実現のために、健康寿命の延伸について調査する。

- **サポーターの育成**
 - 社会福祉協議会、保健福祉課に、専門的な知識を持ったサポーターを、積極的に育成すべきである。
- **関係する各機関の連携**
 - 健康づくり・介護予防は、保健福祉課、社会体育、社会福祉協議会が連携して事業を行うべきである。

このように提言しました(抜粋)

- **県との連携事業の推進**
 - 山形県で、平成27年度に取り組みする「やまがた健康マイレージ」(仮称)事業に、本町も県と足並みを揃えて行うべきである。
- **食育の促進**
 - 関係する各課が互いに連携し、次期「庄内町食育地産地消推進計画」(平成27年度策定予定)に本町特有の健康づくりへの取り組みをすべきである。

健康で長生きは家族もしあわせ

庄内町の現況は(要旨)

- **「元気で長寿4つのS運動」**
 - (1) 趣味を持つ
(生きがいづくり)
 - ・ 地域で見守り支援する心のサポーター養成講座を開催し、自殺防止を図っている。
 - (2) 外に出る
(体を動かす生活)
 - ・ 運動を中心とした健康体力づくりに、参加者が拡大するよう広報で呼びかけている。
 - (3) 食生活は薄味に
・ 集落の老人クラブ等を対象に、栄養士がバランスのとれた食生活について講習している。
 - (4) 検診は毎年受けて
元気に
 - ・ がん検診の無料化を行い、事業の強化を図っている。



生きがいつくって健康長寿

全国コンクール優良賞

議会だより表彰

第29回「町村議会全国広報コンクール」において議会広報No.39が一昨年の最優秀賞、昨年の優秀賞に続き優良賞(全国5位)を受賞しました。

この広報紙の受賞は広報委員の努力と、活性化した議会の総合力が評価された結果です。



新旧広報委員と広報づくりを支える事務局員

3年連続して全国表彰を受賞



かわいい笑顔が受賞に貢献



職11年表彰を、
 村上順一副議長
 石川保議員
 小林清悟議員
 吉宮茂議員
 石川恵美子前議員
 が受賞されました。

皆さんは、平成15年に初当選以来4期11年にわたり議会議員を務めてきました。



山形県町村議会議長会表彰



平成27年2月に議員在職15年表彰を、
 富樫透議長
 齋藤健一議員
 小野一晴議員
 が受賞されました。

3氏は、平成11年に初当選以来、5期15年にわたり議会議員を務めてきました。

全国町村議会議長会表彰

町民と語る会

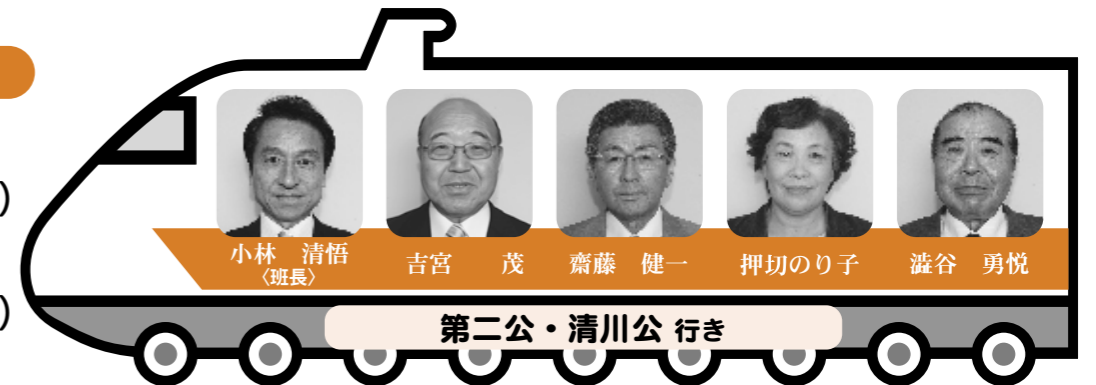
当日は、この「こんにちは庄内町議会です3月議会号」をご持参ください。

広く町民の皆さんへ議会活動状況について報告するとともに、町民の議会活動に対する意見、町政に対する提言等を聴き、より町民に開かれた議会をめざすため、皆さんとの語る会を以下のように開催します。どの会場にも自由に参加することができます。多くの参加をお待ちしております。

PM7:00発 PM9:00着

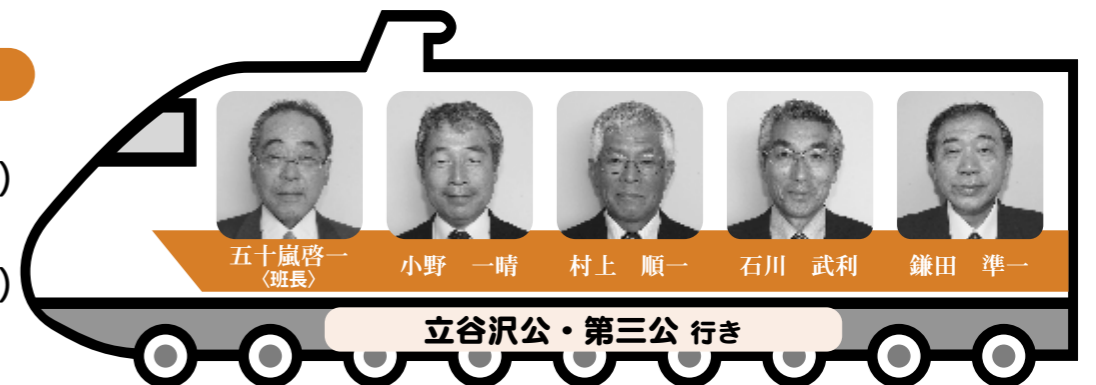
第1班

余目第二公民館
5月29日(金)
 清川公民館
6月 1日(月)



第2班

立谷沢公民館
5月29日(金)
 余目第三公民館
6月 1日(月)



第3班

余目第一公民館
5月29日(金)
 余目第四公民館
6月 1日(月)
 狩川公民館
6月 2日(火)

